

緑茶カテキンの UV による紅斑発生の抑制に関する システマティックレビューとメタアナリシス

ICPH2019(第9回 ポリフェノールと健康国際会議、神戸)で発表

太陽化学株式会社(本社:三重県四日市市)、日本体育大学、愛知医科大学は、2019年11月30日(土)神戸コンベンションセンターにて開催される ICPH2019(第9回 ポリフェノールと健康国際会議、神戸)において緑茶カテキンの UV による紅斑発生の抑制に関するシステマティックレビューとメタアナリシス について発表しました。

ポスター番号:PE-66

発表演題:「Effectiveness of green tea catechins in the cutaneous ultraviolet radiation (UVR) erythema dose-response: A systematic review and meta-analysis」

Mahendra P. Kapoor¹, Masaaki Sugita(杉田 正明)², Yoshitaka Fukuzawa(福沢嘉孝)³, Makoto Ozeki(小関 誠)¹, Tsutomu Okubo(大久保 勉)¹

¹太陽化学、²日本体育大学、³愛知医科大学

カテキンは茶葉に含まれる主要成分であり、フリーラジカルを除去し、紫外線と汚染によって引き起こされる細胞外マトリックスの分解を遅らせることにより、多くの健康増進効果が期待されます。緑茶カテキンの経口摂取が紫外線により誘発される炎症を防ぐことができるかを調べるためにシステマティックレビューとメタ分析を実施しました。

緑茶カテキンのUVによる紅斑に対する論文を統合解析し、皮膚UVR紅斑用量反応における有効性を評価した結果、緑茶カテキンを継続摂取すると、紅斑の発生を抑制することが示されました。今回の結果から、緑茶カテキンを経口することにより、カテキンの代謝産物がヒトの皮膚に到達し、紫外線暴露による炎症誘発性メディエーターの生合成と日焼け紅斑を抑制する可能性があるかと結論付けられました。

<本件についてのお問い合わせ先>

太陽化学株式会社

〒105-0013 東京都港区浜松町1丁目6番3号

TEL:03-5470-6810 FAX:03-5470-6804

E-mail:support@taiyokagaku.co.jp